

伝統的居住文化再生・利活用ワークショップ エコミュージアムによるコミュニティ再生ワークショップ(東京)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年07月25日 ～2025年08月03日	日本	カセサート大学 チェンマイ大学 メーヨー大学	・建築学専攻 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生、博士1年生、博士2年生	(芝浦工業大学) 学生15名、学生バイト30名、教員1名 (カセサート大学) 学生8名、教員1名 (チェンマイ大学) 学生8名、教員1名 (メーヨー大学) 学生8名、教員1名	清水 郁郎(建築学科)



図1 タイの先生による特別講義

現在、タイのチェンマイで、古民家を改修したフォークミュージアムを中心とするエコミュージアムを開設し、その維持管理を地元大学、コミュニティとともに継続しているが、こうしたエコミュージアム化の手法をさらに整備し、洗練させるためにタイの複数大学の建築系学部を招聘し研修を行う。エコミュージアム開設のために必要な知識や手法を、東京やその近郊の都市、集落、施設を訪問して研修し、日本の知見を学びながら母国での活動に転用することを目指す。さらに、国際的協働の現場でコミュニケーションスキルや協調性、調和力を身につけ、グローバルコンピテンシーを向上させるプログラムを実施する。今回のプログラムでは、川崎民家園、江戸東京博物館で、古民家の実測研修、川越における伝統的建築と町並みの保存再生・利活用事例の研修、神楽坂における巡見とデザイン・サーヴェイに基づく、路地景観や伝統的町並みの保存再生計画の立案を行なった。終盤のグループワークでは、日タイ学生の混成チームがよく協力し、神楽坂のエコミュージアム化の手法をまとめた。



図2 川崎民家園での実測調査訓練



図3 実測資料をまとめる



図4 神楽坂のデザインサーヴェイ成果を屋外でプレゼン



図5 豊洲に戻りひたすら設計案のまとめる



図6 最終成果発表の風景